

弥生人養成講座 「弥生の米づくり体験」

第4回 花の観察会

実施日：平成27年9月12日（土）

参加者：親子29名

体験水田で稲の受粉の観察をしました。稲の花は朝の10時頃から14時までの4時間ほどしか咲きません。また、稲の花は気温が30度から35度の時にだけ咲きはじめます。

次に穀物を野鳥の食害から守るために、鳴子（なるこ＝音を出して鳥を追い払う道具）を作りました。鳴子は木材や竹材をひもでつないで作ります。強い風が吹くと、それぞれの板がぶつかり合い大きな音が鳴ります。

最後に、前回の弥生の米づくり体験で作った鳥型木製品と呼ばれる、ムラに侵入者がこないための見張り役としてや、鳥が穀物の霊を運んでくることから豊作祈願のために使われていた道具を竹の先に挿し田んぼに立てました。また、田んぼの周囲に鳴子を設置しました。

10月の収穫までに、鳥型木製品と鳴子が、子供達の植えた田んぼの稲を守ってくれます。

* 稲の花の観察



* 鳥形木製品



* 鳴子作り



* 設置作業



* 全体の様子

